

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 名古屋市立八熊小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
所在地 〒454-0013
愛知県名古屋市中川区1-8-30
E-mail yaguma-e@nagoya-c.ed.jp
Website <http://www.yaguma-e.nagoya-c.ed.jp/>
児童生徒数 男子 164 名 女子 132 名 合計 296 名
児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 環境領域 3年生 理科・総合的な学習の時間「川の生き物を調べよう」

堀川を探検して、カニなどの生物が生息していることを学習した上で、「アクアトトぎふ」を訪れ、専門家の方の話を聞いたり、生物を観察したりした。

「堀川だけでなく長良川や木曾川にも外来種がいるんだね」「これは堀川にはいない生き物だね」など、堀川の生物と比較して、類似点や相違点を知ることができた。また、生物の種類が豊富な長良川に興味をもつ児童が多く見られた。

それをもとに学校でもさらに長良川の生き物を調べて生物マップにまとめ、一緒に堀川に探検に行った2年生に学習したことを伝えることができた。3年生からは「堀川がもっときれいになるようにできることを考えていきたいな」、2年生からは「川のことをもっと調べてみたいな。3年生の総合の学習が楽しみ」という感想がそれぞれ聞かれた



【堀川での生物観察】



【アクアトトぎふでの専門家の講話】

全学年 生活科・総合的な学習の時間「活きた魚に触れよう」

本校学区の南に隣接する名古屋市中央卸売市場の協力で、全校児童が活きた魚に触れる体験をした。

サメに触りながら「これがさめはだってという言葉のもとになっているんだよ」と教えてもらったり、「ウナギとアナゴはどう違うのですか」と質問したりして、会話を楽しみながら体験することができた。

水産業の学習をしている5年生からは、「水産資源を守っていくために自分たちにできることを考えていきたい」という声が聞かれた。また、ボラがいることを教えてもらって「堀川にもいるけど、食べられるのかな」と堀川と関連させて、新たな課題を見付ける児童も見られた。



【活きた魚に触れる体験】

2 平和・人権領域 全学年 道徳・総合的な学習の時間

どの学年もすべての人が大切にされることについて、主に道徳の時間に映像資料などを通して学習した。特に名古屋市のいじめ防止のキャンペーンに合わせて、いじめ防止のスローガンを考えた。いくつかの候補に絞ったものの中から全校児童で投票して「思いやり みんな大切 いじめなし」というスローガンに決定した。また、このスローガンを発表する児童集会では、代表委員がいじめに関するオリジナルの劇を考えて行い、日頃の何気ない言動について改めて考えられるようにすることもできた。

4・6年生は、「なごや人権啓発センター」を訪れ、高齢者や妊婦体験、車いす体験等を通して、様々な人の気持ちを考えることで、他を思いやり、自他の生命を大切にすることを高めることができた。



【児童集会で発表したスローガン】



【妊婦体験の様子】

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）